

ドローン搭載用2周波GNSSシンクロ撮影システム

GCSv5

特許第5561843号

画像に正確な位置情報を記録
i-Constructionの必需品

SPEC

製品仕様

レシーバタイプ	L1 / L2 GPS	GLONASS, BeiDou, Galileo, QZSS (オプション)
水平位置精度	±10 mm+1ppm (推定) / SBAS 時	±0.3 m
タイミングパルス精度	20 ns	
シャッター同期精度	±3 ~ 20/1000 秒	選択するカメラに依存します。
撮影インターバル	2 / 3 / 5 秒から設定	
記録メディア	内蔵メモリー	
記録データ	NMEA / RawData (1Hz)	
本体形状	56×76×35mm	
本体重量	約 180g (アンテナは除く)	
SONY 社製αシリーズ及び Panasonic 社製 GH4, GX8, GX7Mk2, GX7 での動作確認済み		

PACKAGE

セット内容

- GCSv5 本体
- ドローン搭載用 GNSS アンテナ
- シャッターケーブル
- プロセッシングアプリケーション (クラウド処理には別途契約が必要です。)
- 本体充電用 USB アダプター
- 取扱説明書

仕様および外観、画面デザインは、改良のため予告なく変更されることがございますので、予めご了承ください。

ご質問・お問い合わせはこちらまで



株式会社アミューズワンセルフ
〒541-0041 大阪市中央区北浜1丁目1番14号 北浜一丁目平和ビル3階
<http://amuse-oneself.com>

☎ 06-6210-3345 ✉ info@amuse-oneself.com

小型・軽量・高性能

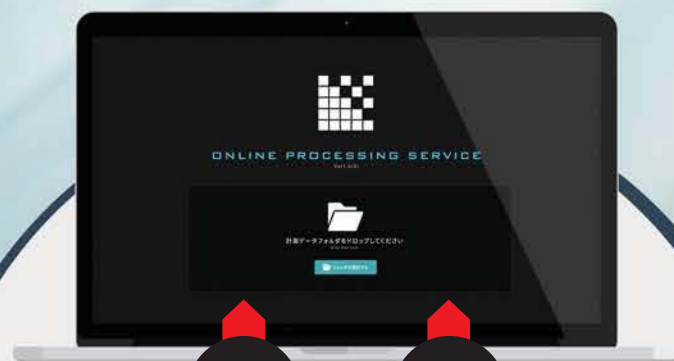
180g

GNSS アンテナは除く

※「i-Construction」については国土技術政策総合研究所より商標登録出願中です。



01 自動飛行による撮影



GCSv5 FLOWCHART

Google Earth 上に自動的に貼り付いた高解像度のオルソ画像。

電信基準点

全国約 1,300ヶ所に設置された GNSS 連続観測点のデータを自動ダウンロード

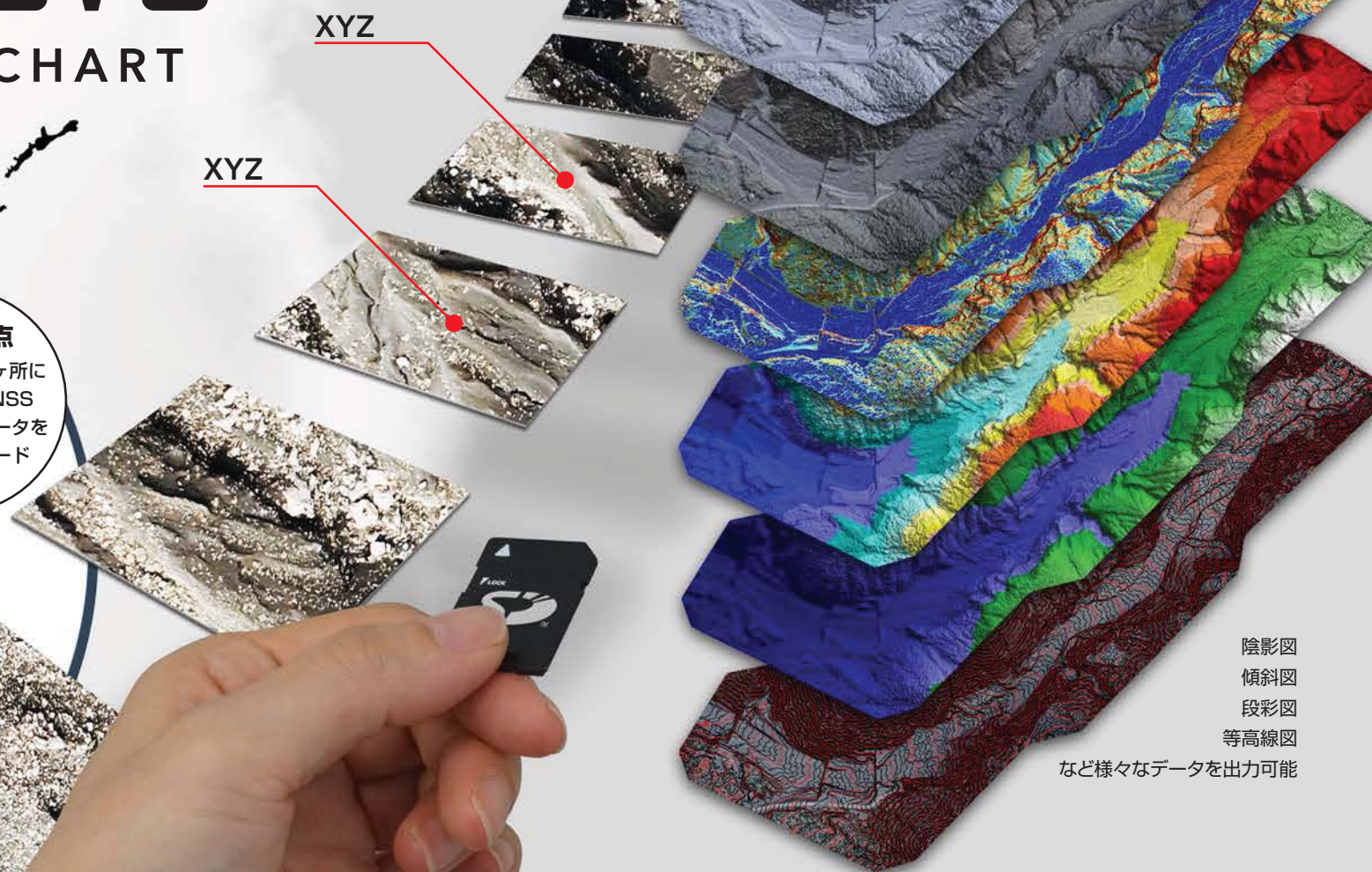
02 着陸後、カメラのメディアを PC に挿入。GCSv5 を USB 接続することでクラウド処理が開始されます。

03 電子基準点のデータを自動的にダウンロード。サーバー内で精密な座標解析が行われます。
※ユーザーさまの固定局データを利用することも可能です。

04 メディア内の画像データに正確な位置情報が記録されます。

05 後は SfM (Structure from motion) アプリケーションによる普段通りの解析を行うのみ。測量座標系に基づいた結果を簡単に得ることができます。

※Agisoft 社製 Photscan Professional 及び Pix4D 社製 Pix4Dmapper による動作確認済み。画像データの Exif データを位置情報として利用する SfM アプリケーションに対応。



陰影図
傾斜図
段彩図
等高線図
など様々なデータを出力可能

※SfM アプリケーションのデータを図化する為に 別途、3DCAD アプリケーション等が必要となります。
当技術は国交省の実施する次世代社会インフラ用ロボット現場検証に於いて即時に適用可能な技術として評価 (オール A) されました。
詳細については担当者にお問い合わせ下さい。